

システムキッチン タイモデルの現地生産を開始

National Furniture 社と業務提携し、「Baan Lae Suan Fair 2022」で初披露

クリナップ(本社:東京都荒川区 代表取締役 社長執行役員:竹内 宏)は、タイ向けシステムキッチンの現地生産を2022年10月より開始しました。これは、同国でシステムキッチンの製造・販売を手掛ける National Furniture 社(以下 NF 社)との業務提携により実現したものです。タイ最大級の住宅関連見本市「バーン・レ・スワン 2022」(Baan Lae Suan Fair 2022/会期:10月28日~11月6日)にて、販売店である RCD Design Centre 社(以下 RCD 社)ブースで初お披露目しました。

当社はタイで高級システムキッチンの輸入販売を手掛ける RCD 社と販売契約を結び、2015年から、日本生産モデルを輸出販売しています。当社システムキッチンの最大の特長である「ステンレスキャビネット」は、熱や湿気、カビに強く、高温多湿なタイでも好評です。

この度、同国における顧客ニーズへの更なる対応向上を目的に、RCD 社 Kitti 社長が経営するキッチン製造・販売会社 NF 社と業務提携し、タイモデルの現地生産を開始しました。

10月28日~11月6日にかけて開催された、タイ最大級の住宅関連見本市「バーン・レ・スワン 2022」では、RCD 社ブースにて、現地生産モデルを2セット展示。日本から輸出した「CENTRO」(1セット)、「STEDIA」(2セット)の展示と共に、来場されたお客様や現地メディアの注目を集めました。

今後、同国内での現地モデルの販売は NF 社と RCD 社とで行います。

クリナップはこれからも世界の協力企業とともに、技術力を活かし、みなさまのニーズにあった製品づくりを進めてまいります。



「バーン・レ・スワン 2022」での展示ブース



ステンレスキャビネットを使用し、現地の生活様式に合わせて開発した、現地生産モデル

右記より画像がご入手できます:<https://cleanup.jp/press/>